

花と迎える年末年始

保健学部 看護学科 楠田 美奈

華道家元池坊 中央委員 木村 尚未

【活動概要】

杏林大学とアトレヴィ三鷹との連携事業として、年末年始のお花の作品展示を実施した。本活動は参加する学生の『コミュニケーションスキル』を育むことと、『モチベーションの向上』を目的としている。

【活動紹介】

2023年9月末に初回の打ち合わせをし、11月頃には、今回の作品テーマを『ぬくもり』に決めた。卯年から辰年への上り調子に肖りつつ、温かみのある色の花を使って、『ぬくもり』を表現したいと提案し、アトレヴィ三鷹側からも承諾を得た。

12月から本格的に準備を開始した。作品で使用する『竹』を採取のために、松田理事長先生をはじめ、造園業者の皆様のご協力もあり、27日には八王子キャンパスで、竹を準備させていただいた。28日午前には、デザインを踏襲して、作品をある程度組み立てるため、竹を切る・割る・組み合わせて固定させる、といった作業を行なった(下図3~5)。



図1 竹に油脂を塗布



図2 竹の葉にハンドクリームを塗る



図3 慣れない鋸での作業



図4 倒れないように固定



図5 完成間近の最終確認

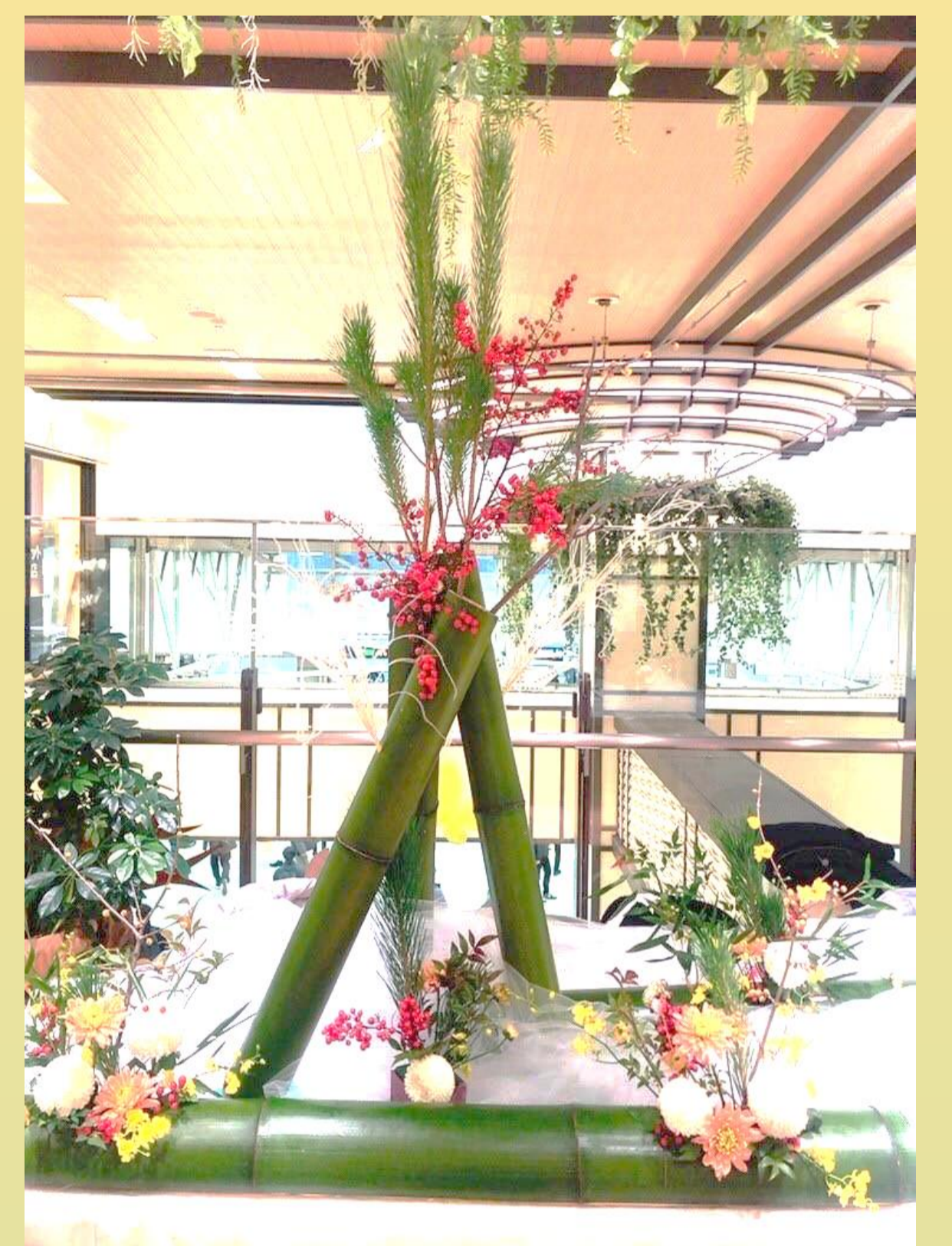


図6 28日(年末用)完成作品

28日午後、制作・展示をした。「花を生ける様子をご覧ください」という掲示をアトレヴィ三鷹様に“ポップ”を用意していただいた。学生は、緊張感を持ちながら作品制作を行い、アトレヴィ三鷹の関係者の皆様や駅や店舗を利用するお客様が、学生たちの様子を見守ってくださいました。28日と31日は木村も指導・展示に加わり、学生は指導を受けながら作品制作に臨んだ。展示期間中は、ほぼ毎日、学生と責任者が、水やり・花の取り換えとを行なった。1月5日の撤去まで、順調に活動を終えた。



図7 完成作品とともに



図8 31日(年始用)完成作品

【活動総括】

展示の準備・実施をとおして、学生の『コミュニケーションスキル』を育むことができ、「来年も頑張りたい!」という発言からも、『モチベーションの向上』に寄与した活動だった。